



輝け！北っ子！



新体力テスト 実施 ～自分の体力・運動能力を知る～

22日から「新体力テスト」を実施しています。このテストは、児童の体力や運動能力の現状を把握し、体育指導の参考にしたり、子ども自身が自分の体力や運動能力に関心を持ち、自分から運動に親しむ態度をつけることを目的としています。

保護者の皆さんも、学校で行った記憶があるのではないのでしょうか。現在の体力テストでは、以下の種目を測定します。※イメージがわからない種目などありましたら子どもたちに聞いてみてください

- 50メートル走
- 立ち幅とび
- ソフトボール投げ
- 長座体前屈
- 反復横跳び
- 20メートルシャトルラン
- 上体起こし
- 握力



子どもたちは、精いっぱい頑張っていました。また、記録の測定も子ども同士で行っています。上学年の子どもが下の学年の子どもの世話をしながら、記録をとっている姿はとても微笑ましいところもありました。



子どもたちの体力・運動能力については全国的に「2極化」傾向が見られています。運動を日常的にしている子と、ほとんど体を動かす機会のない子に分かれていることが2極化の原因ではとも言われています。子ども時代の運動経験はこれから生涯にわたる運動の礎になっていきます。是非、子どもたちにはたくさんの運動を経験させてあげたいものです。

5年福祉教育出前授業 JRC実践目標の具現化に向けて ～「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」～



北小は令和2年度～4年度まで、青少年赤十字の研究推進指定校になっていることは以前の学校だよりでお伝えしているところです。その研究推進の意味もあり、青少年赤十字の実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に関する活動を学校教育全体の中に取り入れて取り組んでいます。22日23日と5年生が総合的な学習の時間の学習として「福祉教育出前授業」を受けました。二本松市、二本松市社会福祉協議会、二本松市聴力障がい者会の皆様のご協力のもと、実施できた授業で大まかに言えば、「手話」の学習でした。手話でのあいさつや自分の名前などを教えていただきました。講師の先生からは子どもたちの意欲の高さと吸収の速さをお褒めいただきました。今後も、各学年で青少年赤十字の実践目標に向けて取り組んでいく予定です。

